

だいじょうぶ?

脈がとぶ

医院に脈がとぶといって心配され来られる患者さんがいらっしゃいます。不整脈はいろんな種類の不整脈がありますが脈をとった時にトントントンとリズムが一定に打っており時にトントントントと打ち、その後脈がとびまたトントントンとリズムが一定に打つようであれば期外収縮が考えられます。

心臓は洞結節という場所から心臓を打つように電気信号の指令を出しており、その電気信号が伝わることにより一定のリズムで動いています。期外収縮は洞結節以外から電気信号が出たときにトントントントと少し早く脈が打ちその後とぶように感じます。期外収縮は2種類あり洞結節以外の心房から電気信号が出る場合が上室性期外収縮、心室から出る場合が心室性期外収縮です。期外収縮は30歳を超えると多くの人に見られるようになり、病気と関連がなく起こることがほとんどです。病気と関連なく起こる期外収縮は特に治療はいりません。特に上室性期外収縮は動悸がして気持ち悪いなどの症状が

姫路市医師会
スポーツ医学
委員会

森 田 雅 人



なければ治療の必要はありません。ただし上室性期外収縮の頻度が多い人は心房細動という別の不整脈が起こりやすいといわれており症状に変化があったり、脈のリズムが全くバラバラの時は受診して下さい。心室性期外収縮も心臓疾患がない場合は治療の必要はありませんが、心筋梗塞や心筋症などの心臓疾患がある場合は危険な不整脈につながることもあり注意が必要です。動悸があり心室性期外収縮といわれた時は心臓超音波検査などを行い心臓疾患の合併がないかどうかは調べた方がいいでしょう。また心室性期外収縮が頻発している時は（一日総心拍数の10%以上、だいたい一日の心室性期外収縮が一万個以上になります）将来の心臓機能の低下と関連があるとされており治療が必要な時があります。

脈がとぶことをすごく心配される方が多いです。しかしながらこのようにほとんどは治療が必要ありません。怖がらずに医療機関を受診し安心して下さい。